とみおか 議会だより

vol. 228
2026.10.21



9月の定例会

② 令和7年度決算
総額182億円の成果を認定！

⑪ ズバリ!! 町政を問う
3議員が質問

⑧ こんなことが決まりました
9月定例会

⑳ 行政視察
先進地に学ぶ

富岡町議会の
ホームページはこちらから

とみおか復興ロードレース大会

TOMIOKA GIKAI DAYORI
発行：福島県富岡町議会　住所：〒979-1192　富岡町大字本岡字王塚622-1
TEL.0240-22-2111　FAX.0240-22-0899

令和7年度 決算 総額182億円の成果を認定!

【一般会計　136億円、特別会計46億円　合計182億円】

適正

令和7年度 決算審査

【町の未来を見据えた行財政運営を】

石井代表監査委員の審査意見（抜粋）

令和７年度決算について、昨年度の決算審査や例月出納検査等において指摘、指導した事項を改善しているか。また、条例や規則などの例規を遵守し、厳格さを持って事務執行に努めているかに着眼し、審査を行った。

総体的には概ね適切に事務処理が行われたものと判断する。

本年度（令和８年度）は、第３期復興創生期間の初年度となるが、町の復興にはさらに年月が必要であると思われ、将来的な町の展望を見据えた的確な施策と、それを実現するための適正な行財政運営が引き続き求められるところである。

定例会のあらまし

令和８年９月定例会は９月９日から11日まで３日間の会期で開催しました。人事案件や令和７年度決算認定、令和８年度補正予算など、２件の報告に加え23件の議案を慎重に審議し、全て可決しました。

一般質問では３議員が登壇し、今後直面する課題や町政運営のあり方について問いただしました。

【桜まつり・桜保全事業】



桜まつり事業 4,045万円（委託費　他）
桜保全事業費　171万円（基金積立金　他）

【防火防犯パトロール事業】



防火防犯パトロール事業費
（委託料　他）　3億1,278万円

【防犯対策事業】



防犯対策事業費　9,671万円
（リース料　他）

【移住・定住促進事業】



移住・定住促進事業費　1億7,833万円
（委託料　他）

【道路維持管理事業】



道路維持管理事業費　3億3,112万円
（委託料　他）

【敬老会等事業】



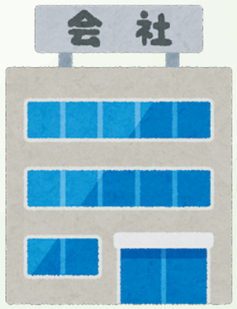
敬老会事業費（委託料　他）　465万円
敬老祝金支給事業費（祝金　他）　1,856万円
長寿者誕生日祝事業費（記念品費　他）195万円

【営農再開支援事業】



営農再開支援事業費　1億3,501万円
（補助金　他）

【中小企業等支援事業】



中小企業等支援事業費　1億3,754万円
（貸付金　他）

令和７年度 決算

歳出（支出）の主なもの

●総務費（全般的な管理に要する経費、徴税費や選挙費なども含まれる。）
……44億1,029万円

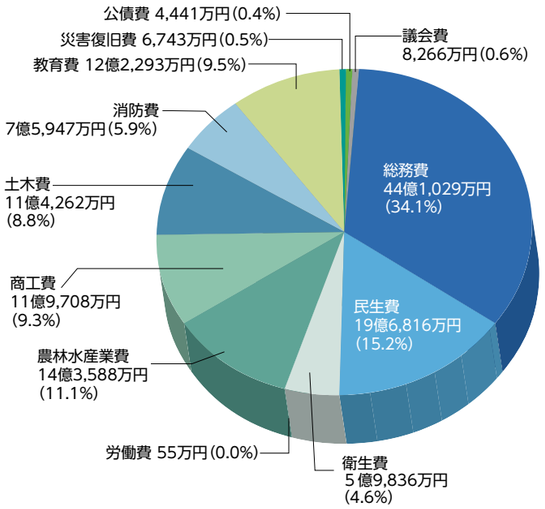
●民生費（町民が一定水準の生活と安定した社会生活を送るために必要な経費）
……19億6,816万円
・社会福祉費……15億4,581万円
・児童福祉費……２億9,029万円
・災害救助費……１億3,206万円

●衛生費（町民が健康で衛生的な生活環境を保持するための経費）
……５億9,836万円
・保健衛生費……２億9,958万円
・清掃費……１億4,215万円
・上水道費……１億5,663万円

●農林水産業費（農林水産業の振興に要する経費）
……14億3,588万円
・農業費……11億2,202万円
・林業費……３億1,264万円
・水産業費……122万円

●商工費（商工業の振興に要する経費）
……11億9,708万円

歳出（支出）129億2,984万円



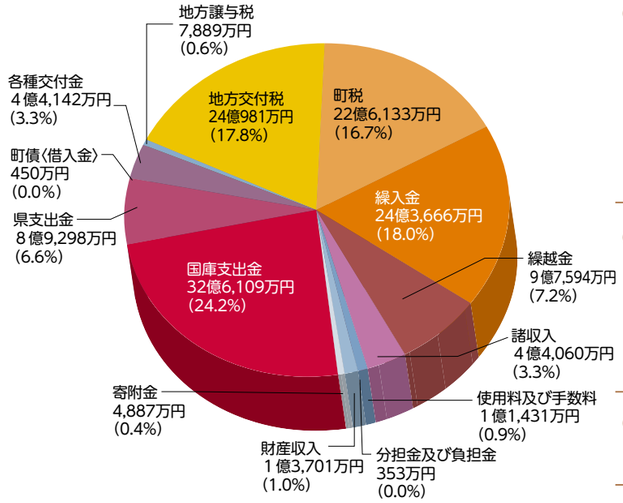
●土木費（道路、公営住宅等の建設、維持管理に要する経費）
……11億4,262万円

●消防費（防犯防火に要する経費）
……７億5,947万円

●教育費（教育に要する経費）
……12億2,293万円

●公債費（町の借金返済に要する経費）
……4,441万円

歳入（収入）135億694万円



●地方譲与税（国が徴収した自動車重量税などから配分されたお金）
……7,889万円

●各種交付金
……４億4,142万円

●地方交付税（税収不足を補うために国から配分されたお金。財源は所得税や法人税などの国税の一部）
……24億981万円

歳入（収入）の主なもの

●町税（皆さんが町に納めた税金）
……22億6,133万円
・町民税……８億586万円
・固定資産税……13億5,643万円
・軽自動車税……2,515万円
・町たばこ税……7,389万円

●繰入金（収入の不足を補うために、基金（貯金）等から取り崩したお金）
……24億3,666万円
・特別会計繰入金……1,204万円
・基金繰入金……24億2,462万円

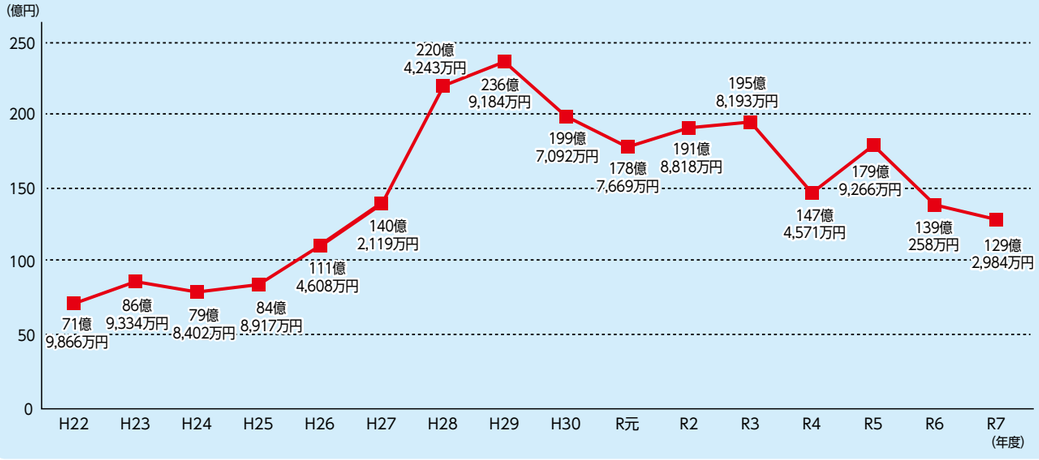
●繰越金（前年度から繰り越されたお金）
……９億7,594万円

●諸収入（雑入など、その他の収入）
……４億4,060万円

●使用料及び手数料（住民票などの手数料収入）
……１億1,431万円

●国庫・県支出金（特定の目的のために国や県から交付されたお金）
……41億5,407万円
・国庫支出金……32億6,109万円
・県支出金……８億9,298万円

【震災前の平成22年度から令和７年度までの一般会計歳出決算の推移】



【令和７年度一般会計及び特別会計決算を全会一致で承認】

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険事業	公共下水道事業	農業集落排水事業
歳　入	135億694万円	45億6,651万円	22億8,416万円	4億6,219万円	8,749万円
歳　出	129億2,984万円	42億6,540万円	21億1,353万円	4億2,198万円	8,079万円
歳入歳出比較	5億7,710万円	3億111万円	1億7,063万円	4,021万円	669万円

会計区分	特別会計			合　計
	介護保険事業	後期高齢者医療事業	介護サービス事業	
歳　入	16億5,878万円	6,260万円	1,129万円	180億7,345万円
歳　出	15億7,643万円	6,183万円	1,083万円	171億9,524万円
歳入歳出比較	8,235万円	77万円	46万円	8億7,821万円



定例会審議議案一覧
令和8年9月9日～11日

令和８年第５回定例会で審議した議案とその結果

上　程　議　案　・　概　要		結　果
◆報告		
報告第４号	令和７年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告のみ
報告第５号	令和７年度富岡町継続費精算の報告について	報告のみ
◆人事		
議案第32号	富岡町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	賛成８票・反対０票 原案可決
◆条例		
議案第33号	富岡町企業版ふるさと納税基金条例について	全会一致　原案可決
議案第34号	富岡町認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致　原案可決
議案第35号	富岡町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致　原案可決
議案第36号	富岡町特定復興産業集積区域における町税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致　原案可決
議案第37号	富岡町企業立地促進区域及び避難解除区域等における町税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致　原案可決
議案第38号	富岡町福島県特定事業活動振興計画に基づく町税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致　原案可決
議案第39号	富岡町福島県新産業創出等推進事業促進計画に基づく町税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致　原案可決
議案第40号	富岡町印鑑条例の一部を改正する条例について	全会一致　原案可決

定例会　審議議案一覧

上　程　議　案　・　概　要		結　果
◆決算の認定		
認定第１号	令和７年度富岡町一般会計歳入歳出決算の認定について	全会一致　原案可決
認定第２号	令和７年度富岡町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致　原案可決
認定第３号	令和７年度富岡町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致　原案可決
認定第４号	令和７年度富岡町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致　原案可決
認定第５号	令和７年度富岡町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致　原案可決
認定第６号	令和７年度富岡町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致　原案可決
認定第７号	令和７年度富岡町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致　原案可決
◆補正予算		
議案第41号	令和８年度富岡町一般会計補正予算（第２号）	全会一致　原案可決
議案第42号	令和８年度富岡町国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）	全会一致　原案可決
議案第43号	令和８年度富岡町介護保険事業特別会計補正予算（第１号）	全会一致　原案可決
議案第44号	令和８年度富岡町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	全会一致　原案可決
議案第45号	令和８年度富岡町介護サービス事業特別会計補正予算（第１号）	全会一致　原案可決
議案第46号	令和８年度富岡町公共下水道事業会計補正予算（第１号）	全会一致　原案可決
議案第47号	令和８年度富岡町農業集落排水事業会計補正予算（第１号）	全会一致　原案可決

※第５回定例会における「人事案件」「令和７年度決算」「令和８年度一般会計補正予算」は別頁に詳細を掲載しております。
　また、各議案については富岡町ホームページにおいても報告しておりますので、ご参照ください。

こんなことが決まりました

人事案件

富岡町教育委員会委員に任命

富岡町教育委員会委員の任期満了に伴い、遠藤絹子さんの任命に同意しました。

任期は、令和8年10月1日からの4年間です。

（9月定例会　全会一致　原案可決）



遠藤絹子さん

【遠藤絹子さんのごあいさつ】

私も子育てをさせていただいた富岡町で、子どもたち、それから教育のためにお手伝いをできるということ、うれしく感じています。

微力ではございますが、精いっぱい頑張っていきたいと思います。

どうぞ今後ともご指導、ご教示の方よろしくお願いいたします。



議員が切り込む!! 質疑応答

【令和7年度一般会計歳入歳出決算】

問　滝川ダム維持管理事業費の維持管理業務委託料の内容は。（渡辺正道）

答　農林水産課長

農業用ダムとしての機能を持っていることから、水位の管理や、営農時期については用水路に水を供給すること、また、施設管理としてダムの中に流木等が発生した際は除去等を行っています。

問　委託先と、決定の経緯は。（渡辺正道）

答　農林水産課長

維持管理は土地改良区に委託しており、その他エレベータなど施設内の設備や管理に使用する船舶、流量の数値を管理するための電気関係等については、それぞれ専門の事業者に委託しています。

なお、委託先については県※の意見を聞きながら決定しています。

問　ふくしま森林再生事業の実施場所は。（渡辺正道）

答　農林水産課長

場所については優先順位を定めて、まず住民が居住するところを優先的に始めており、令和7年度は小浜地区を中心に作業をしたところです。



湖面の巡視

※滝川ダムの管理について

令和6年度より県の管理から左記のとおり町へ委託されました。

管理受託者：富岡町

操作受託者：富岡町土地改良区

議員が切り込む!! 質疑応答

問　ふくしま森林再生事業において発生した間伐材の処理方法は。また、放射線量の測定は行われているのか。（渡辺正道）

答　農林水産課長

チップ材として飯舘村の事業者に売却されており、放射線量を確認したうえで運び入れています。また、発生した売却益については地権者に支払われる仕組みとなっています。



問　現在、イベントなどには補助金があてられるが、将来を見据えて運営の仕方や切り詰められる部分の見直しなどを行うべきでは。（渡辺二男）

答　総務課長

将来の財源不足に対する備えについて、ハード事業の抑制や施設運営に係る経費を削減するなどの工夫が必要となると考えます。

復興に向かって、金額をかけるところはかけていくべきと思っていますが、今後の財政運営の中で皆さまからのご意見をいただきながら抑制すべきところはしっかりと行っていきたいと考えます。

問　基金の運用状況を見るとあまり取り崩されていない。良いことだと思うが事業があまり行われていないということに繋がるのでは。（渡辺二男）

答　総務課長

基金については当初予算時において業務内容を確認し、大きな取り崩しにはなりにくいと感じているところです。

財源の中である程度の金額を維持しつつ保持しなければならないと中期計画にもあることから、原則を維持しながら取り組むべきと考えます。

【令和8年度一般会計補正予算】

問　町づくり活性化事業委託料の内容は。（宇佐神幸一）

答　企画課長

富岡駅前を町内全域への回遊と交流を生み出す拠点と位置付け、交流施設のハード整備に向けた基本設計を発注するものです。富岡駅前から町内各所に回遊し、町全体のにぎわいにつながるよう取り組みます。

問　農園開設工事の内容は。（佐藤啓憲）

答　農林水産課長

現在は総合体育館の東側にあるふれあい農園のほとんどの区画が埋まっていることや、希望者もいることから新たに夜の森地区に農園を整備するためのものです。そこに係る造成工事、水道の設備設置、区画割りなどの工事を予定しています。

問　夜の森地区中核拠点施設整備事業費にある謝礼とは、誰に対してのものか。（平山勉）

答　地域創生課長

温浴施設整備を進める中でプロポーザルを実施する際の審査委員への謝礼です。

問　富岡町防火防犯パトロール事業委託料の減額理由と、防犯カメラリース料の増額理由は。（佐藤啓憲）

答　安全対策課長

パトロール事業は車でのパトロール、訪問型のパトロール、小良ヶ浜・深谷地区の常駐警備について、契約の請差です。

防犯カメラリースについては、現在町内に設置されている車両ナンバー認識のカメラシステムをつけかえる計画での計上です。

問　富岡町グリーンフィールド整備事業委託の内容は。（宇佐神幸一）

答　生涯学習課長

遊歩道およびふれあい農園の東側を一体的に測量調査をするものです。今後全体的な整備を進める中で開発行為の協議等も出てくるので、本年度に全体的な測量を行います。

一般会計 補正予算

事務事業の進捗等精査による増額

《4億7,038万円を増額補正》

事務事業の進捗等精査による増額計上等により４億7,038万円の増額補正を行い、総額157億6,270万円となりました。補正のあった主な事業は下表のとおりです。

事　業　内　容（費　目　名）	補正予算額
基金積立金（10件）	２億3,511万円増
特別会計繰出金（２件）	1,887万円増
町づくり活性化事業費（委託料 他）	2,811万円増
システム管理運営費（委託料 他）	2,107万円増
母子保健事業費（助成金）	222万円増
農業復興対策事業費（工事請負費 他）	227万円増
地域おこし協力隊事業費（委託料）	224万円増
工業団地事業費（補償費 他）	1,054万円増
商業拠点施設運営事業費（委託料）	250万円増
富岡町防火防犯パトロール事業費（委託料）	１億4,887万円減
防犯対策事業費（リース料）	２億円増
体育施設管理費（委託料）	800万円増
その他	8,832万円増

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に問題点をただし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。

ズバリ!! 町政を問う



３議員が質問

９月定例会の一般質問に３議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。



1 渡辺（わたなべ）　正道（せいどう）議員……12

○ 今後の農業政策における環境整備の考えは

○「まちづくりと学びの場づくり検討委員会」の設置、進捗は



2 佐藤（さとう）　啓憲（たかのり）議員……13

○ 近年の外国人増加に対する取組は

○「時の海 東北 美術館」建設における町の方針は



3 平山（ひらやま）　勉（つとむ）議員……14

○ 沿岸部の災害危険区域についての発信は

○ 沿岸部の地域文化の伝承を

動画配信中！

富岡町議会公式チャンネル YouTube 開設

※ＱＲコードを読み取ると議会ライブ配信のアーカイブ動画が見られます。



山本（やまもと）　育男（いくお）　町長



武内（たけうち）　雅之（まさゆき）　教育長



渡辺 正道 議員

問 今後の農業政策における環境整備の考えは

答 農地の集約、作業の効率化、生産性を高めます

問 令和7年第10回農業委員会定期総会において、農地法第3条による農地売買申請が否決される案件があったが、委員会は農地法第3条のどの許可要件に抵触すると判断したのか。

答 町長
農業委員会の審議において、一件の担い手に集約された農地が分断されることや効率よく栽培をする妨げになると、委員の多数が判断したものと認識しています。

問 利害関係を有する可能性のある委員が採決に参加することについて、公平性をどのように担保すべきと考えるか。

答 農業委員会事務局長
今回は「特定農作業受委託契約」に基づく耕作で、農地法等に関わる特定の権利が発生するものではないことから、同条項に規定する議事参与の制限には当たらないものです。

問 農業委員会の事務局を預かる町として、今後の同様の案件への対応や対策は。

答 農業委員会事務局長
今後の課題として受け止め、そういったところをどう説明し、分かりやすくしていくべきか考えます。

問 町は今後の農業政策において、多様な担い手が公平に農地へ参入できる環境をどのように進めていく考えか。

答 町長
本町農業の振興を図るため、多様な担い手の参画を後押しするとともに、持続可能な農業経営に向け、担い手ごとに農地を集約し、作業の効率化を推し進めるなど、生産性を高めていきます。

問 町として農業振興を進める立場からすれば、大規模集約化というひとつの政策目標と、結果として特定の担い手を優先しているかのようにとられかねない運用になったり、新たな担い手が農地を取得する機会を狭めたりすることがないようにすることも重要であると考える。町として、既存の担い手による集約化を進めながら、同時に新たな担い手の参入や農地所有者の意思も尊重し、公平で持続可能な農地利用のあり方について農業委員会と情報共有や意見交換を行っていくべきである。



答 町長
農業はこれから基幹産業として進めていくべきもので、様々、意見交換をしていきます。

問 「まちづくりと学びの場づくり検討委員会」の設置、進捗は

答 政策的な取組として位置付け、具体化に向け課題を整理します

問 「町づくりと学びの場づくり検討委員会」の設置に向けた進捗は。

答 町長
設置する委員会の目的、役割、検討事項および検討手順の整理を進めています。

問 町として富岡高等学校施設の利活用についての検討は。

答 町長
新たに設置する検討委員会における論点のひとつとして取り上げ、丁寧に検討します。

問 令和4年の一般質問の際、校庭は未除染という答弁だったが、現状は。

答 安全対策課長
現状、未除染です。環境省、また県教育委員会に改善もしくは除染を進めるよう求めます。

問 委員会の報告書では、富岡町が双葉郡のセンター・タウンとしてリーダーシップを発揮することが求められている。町長は本提言を今後の復興まちづくりの中でどのように位置づけ、どのようなスケジュールで具体化していくのか。

答 町長
本提言を教育分野に限った個別の取組ではなく、学びを通して若者をはじめとする多様な人々を呼び込み、交流・関係人口の拡大と地域の持続可能性の向上を目指す、復興に向けたまちづくりへの政策的な取組として位置づけます。今年度のできる限り早い時期に検討委員会を設置し、地域や民間の自発的な活動による体験・交流会など、多様な学びの場に関する事例調査を進めるとともに、具体化に向けて検討すべき課題を整理します。

佐藤 啓憲 議員

問 近年の外国人増加に対する取組は

答 多文化共生のまちづくりを推進します

問 富岡町内において、このところ外国人の方の居住者が多くなっていると思われるが、町で把握している住民数等は。

答 町長
本町に住民登録をしている外国人は、現在233人で、国籍としては15か国の外国人が町内に居住し、この2年間で2倍に増加しています。

問 外国人住民から行政に対する相談や、地域住民からトラブル等の相談について、窓口対応の現状は。

答 町長
外国人による相談はありますが、地域住民から行政への苦情は把握していません。昨年から32の言語に対応した「多言語通訳サービス」を導入しており、今後も分かりやすく親切な窓口環境の整備や各種対応に努めます。



窓口に設置された多言語通訳サービス

問 特定技能制度の拡大と家族帯同により、さらに多くの外国人労働者と関わる方が増加すると見込まれる。町においても共生できる環境作りが必要と考えるが、本町における多文化共生のビジョンは。

答 教育長
町内在住外国人を対象としたやさしい日本語教室や、国際交流パーティーを再開するなど、多文化共生を推進する事業を実施しています。また、外国人就学児童生徒への対応なども含め、互いを尊重し多文化共生のまちづくりを進めます。



問 全国共通の自治体課題であるかとは思うが、税金や健康保険料の未払いについて、本町の状況は。

答 税務課長
外国人の滞納者は令和7年度から増加しています。町へ届け出をせず、海外に転出というようなケースが非常に問題となっています。督促や催告をはじめ、臨戸徴収といった対応を行っています。

問 富岡町災害復興計画（第二次）の重点政策において「地域づくり・人と人、地域がつながり、多様な人々の活動を生み出すまち」とあるが、具体的な施策は。

答 町長
「地域づくり」においては、行政区をはじめとする地域活動を支援するとともに、町内外に居住する町民の皆さまが交流できる機会を確保します。また、交流・関係人口の拡大については、本町への来訪を一過性のものとせず、体験・交流の機会を創出するとともに、それらの情報発信を強化していきます。

問 小浜地区の浜街道沿いに、「時の海・東北」プロジェクトによる美術館の建設が計画されている。今後の交流人口拡大を期待される施設となり、町内全体に波及できるような取組に発展させるべきである。

答 町長
本プロジェクトを、本町の復興・再生と交流・関係人口の拡大を図る重要な契機と捉え、関係機関及び地域の皆さまとの緊密な連携のもと、町全体に波及させる取り組みを積極的に推進します。

問 「時の海 東北 美術館」建設における町の方針は

答 交流・関係人口拡大のため積極的に推進します



撮影：岩波友紀
提供：「時の海 - 東北」プロジェクト
「時の海 東北 美術館」予定地

問 沿岸部の災害危険区域についての発信は

答 防災情報と合わせた効果的な周知となるよう取り組む



平山　勉 議員

問 沿岸の災害危険区域において、防災的側面から危険区域であることの発信を、町はどう考え、どのようにしているか。

答 町長

「過去に津波による甚大な被害が発生し、将来にわたり災害リスクが特に高い区域である」ということを、町内に居住している方はもちろん、町を訪れる方々にも分かりやすく伝えることが重要であると認識しています。このため、町ホームページ等において、災害危険区域の位置や建築上の制限について周知するとともに、津波ハザードマップ等により、津波による浸水想定区域や避難に関する情報の発信を行っています。

平時からの防災対策の一環として、災害危険区域等の浸水想定や避難経路等について、防災情報と合わせた効果的な周知となるよう関係部署、関係機関と連携しながら取り組んでいきます。

町へ要望！

現地において、危険区域であることを発信するようなものが何もないことについては、富岡町は他町村に比べてだいぶ遅れているように感じるため、伝え方の検討が必要だと思う。

この地域の歴史的背景を共有することは、地域の災害特性の理解を深め、将来の災害被害を軽減する災害・防災文化の基盤ともなることである。災害危険区域には教訓と防災、追悼と鎮魂、そして復興の歩みを発信し続ける、そういう公益的価値がある。

問 沿岸部の地域文化の伝承を

答 記憶をたどる「QR街歩き事業」に着手



問 失われた沿岸部の地域文化を後世に残さないといけないと思うが、今後政策的に検討することはできないか。

答 教育長

町では、地域の歴史を伝える場所や、震災で被害のあった箇所等に、QRコードを付けた看板を設置し、訪れた方々がスマートフォンを介して震災前の街並みや旧跡、地震津波被害の状況を確認できる「富岡駅周辺　記憶をたどるQR街歩き事業」に着手しています。

ご指摘の津波高・津波到達地点への案内板等の設置についても、本事業により実施していきます。

問 住民文化を後世に残すという取組の中で、自分たちの住んでいた集落の何を残したいのかをヒアリングした上で、「QR街歩き事業」に組み込んでもらいたい。居住を諦めざるを得なかった土地の記憶、地域の歴史は、もっと大切にするべき。バラバラになった住民の心をつなぎとめて故郷の記憶を守るための心の拠り所として、今後に繋がる教育資源でもあるため、じっくり考えて進めてもらいたい。

答 教育長

今回、念願の予算もつきまして、主たる事業者も決定していく運びです。継続的に進めていけるよう、町としても意識を高く持っていきたいと思います。外部から訪れる方々ももちろんですが、町民、そして学校で学ぶ子どもたちの教育資源としても有効に活用できるような、そんな部分も大切に考え、本事業をしっかりと進めていきたいと思います。





津波到達地点や震災に関する史碑（イメージ図）

原子力等特別委員会

当特別委員会では、震災前より原子力発電所からの通報連絡についての報告や、原子力発電所に関する安全対策等についての説明を受け、質疑応答を行っています。

【タンクの除染と処分について】



辺見珠美委員

事故当時に１～４号機の汚染水を溜めていたフランジ型タンクの解体が終わったが、タンク内部の汚染状況と処分方法は。



東京電力HD㈱

除染装置により内部除染を行い、人が中で作業できるレベルまで放射線量を下げました。その後、容器に収納して屋外の一時保管エリアで保管しています。処分は他のがれきと同様に検討していく必要があると考えており、現在は性状の分析を行いデータを収集しているところです。

【不具合への対応について】



東京電力HD㈱

ロボットアームの検証試験が完了し２号機建屋へ搬入・据付された後、動かすための軸駆動装置モータの交換が必要となる事例が発生しているが、他のパーツでも同様のモータが使用されていれば全て精密な点検を行うべきでは。



渡辺正道委員

不具合が発生したモータについては取換作業を実施し、取外したモータはメーカーとも連携して原因究明に努めます。

【周知に対する考えは】



宇佐神幸一委員

発生した事象について「速やかにお知らせする」とあるが周知方法は。また、誤解なく伝えることへの考えは。



東京電力HD㈱

想定外のトラブルやその影響、対策等について、普段から原子力発電所をしっかり運営していく準備をしていることを事象発生後すぐ、受け手にとって最適な形でご提供できるよう考えるべきであると思っています。また、広報誌や対話の場、視察などで日常的な取組や過去のトラブルでの対応についてなどの事例をお伝えするなど組合わせて行うことも大事であると考えます。

【海洋放出の今後について】



東京電力HD㈱

ALPS処理水の海洋放出が始まって３年、保管料の減少は７%に留まっている。このペースでは2051年までにすべての放出が終わらない懸念がある。スピードアップすることや他の考えがあるか。



安藤正純委員

総量を減らすためには放出量の増加と新たな発生を抑えることの両面が大事であると思っています。現在はほぼ計画通りに進んでおり2051年までの放出完了が難しいという評価はしていません。安全な海洋放出のための設備メンテナンスをしっかり行うことを大前提に、新たな処理水発生の抑制と放出の効率化を組合せて取組みます。

総務文教常任委員会

※常任委員会とは①　本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

総務文教常任委員会が調査した主な事業について報告します。

【所管課】
- ○総務課
- ○企画課
- ○税務課
- ○住民課
- ○いわき支所
- ○郡山支所
- ○出納室
- ○教育総務課
- ○生涯学習課
- ○議会事務局



≪ 継続的な職員採用の取組について ≫

Q　職員の採用に向けた取組として行っている学校訪問の内容は。

A　総務課職員および委託事業者が県内の高校や大学等を訪問し、進路指導の先生に職員採用試験のご案内をするとともに、作成したパンフレットにより富岡町の魅力や公務員の仕事に関することをお伝えしています。



【総務課】

≪ 職員の研修について ≫

Q　職員を対象にした研修として、ふくしま自治研修センターや町独自の研修の実施が行われているが、オンラインによる研修も増えているのか。

A　現在、福島県主催によるオンライン研修なども行っており、メニューも増えています。全職員を対象とした研修に加え、労務管理側の職員に対する個別メニューなどもあり幅広く受講しています。全国の自治体の例を参照にする内容など非常に有意義な研修であることから、利用できるものに関してはどんどん進めたいと思っています。

【総務課】

≪ 協定の内容について ≫

Q　みやぎ生協と締結した「“安心して暮らせる地域づくり”に向けての包括連携に関する協定」並びに「災害時における応急生活物資の供給協力に関する協定」の内容は。また、県外の企業と締結した理由は。

A　通常営業中の配達を生かし、例えば町の異常に対する報告や交通弱者に対する買い物環境の向上を行いつつ、災害時には町からの要請により物資をご提供いただくという内容です。
また、みやぎ生協は2019年に「みやぎ生活協同組合」「生活協同組合コープふくしま」「福島県南生活協同組合」の３社が組織統合して現在のみやぎ生活協同組合となっていることから、締結先として本部かつコープふくしまを管轄しているみやぎ生活協同組合との締結となりました。



【企画課】

≪ 補助金の内容と実績について ≫

Q　社会教育施設利用者宿泊費補助金の内容とこれまでの実績は。

A　スポーツ施設や文化施設を利用し、町内に宿泊された方への補助金です。
令和７年度は延べ2,971泊分を補助しています。主に町内でスポーツ合宿を行う学生への補助が多くなっています。

【生涯学習課】

≪ サイクルルートの今後の展開について ≫

Q　新地町からいわき市までを結ぶ約180kmの「ふくしま浜通りサイクルルート」が、東北地方初の国が指定する「ナショナルサイクルルート」に認定された。町として休憩スポットや駐輪スペース、サイクルショップの周知・紹介の情報発信をするなど、サイクリストのニーズを掴み、訪れたくなるような対策を行ってもらいたい。

A　現在、庁内関係部署と協議を進めており、サイクリストの受入に対する町全体の意識・理解の醸成が必要と考えています。また、今後は公共施設へのメンテナンスキットやサイクルラックの設置等、受入体制の強化に向けた協議を進めるとともに、周辺自治体との広域的な連携も検討していきます。



2023年の開通から、多くのサイクリストに親しまれている浜街道



【生涯学習課】

≪ 座礁船の今後の計画について ≫

Q　富岡漁港北にある座礁船の３D計測の経過と今後の考えは。

A　現在、座礁船は環境省により撤去作業の準備が進められています。町では撤去前に３D計測を実施し、震災遺産としてデータ保存します。また、本年度事業において、富岡駅を中心とした「QR街歩き事業」への活用も検討していきます。

【生涯学習課】

産業厚生常任委員会

※常任委員会とは② 全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。
行政視察や事業の現地視察も実施します。

産業厚生常任委員会が調査した主な事業について報告します。

【所管課】
○福祉課
○健康づくり課
○安全対策課
○地域創生課
○農業委員会
○農林水産課
○都市整備課



≪ 災害への対策等は ≫

Q 台風や大雨による被害が全国的に相次いでいる。町内のアンダーパスの箇所や危険箇所の把握と想定、対策は。

A アンダーパスについては通行止めの措置をすることを想定してます。
なお、短時間雨量が多い場合は河川の溢水により被害が大きくなる場合がありますので、想定できる危険箇所等については早めに避難していただけるよう周知をするなど、災害対策本部において行政一体となって対応していきます。



危険箇所には注意喚起の看板を設置

【都市整備課】

≪ 町の重点施策について ≫

Q フラワーパーク構想を重点施策として位置付けている理由は。

A 今後、ワイルドフラワーの植栽や遊具・水上ステージ等の整備をすることにより集客を増やし、町内外から来られる方に富岡町に来て楽しかったと思ってもらうことで交流人口の拡大から定住につながっていければと思い、重点施策として計画を進めています。

Q まずは富岡町の宝である町内の桜の管理に力を入れるべきでは。

A これまで維持管理計画について委員会などでも要望が出されていました。
現在、関係課と協議を進めており、今あるものをできるだけ守りながら、並木を含めて桜のトンネルを維持することを基本として、枯れてしまった桜はすぐに植替などを行っています。
一方で、代々受け継がれてきた富岡町の桜の保全については、次の世代への伝承に加えて道路の拡幅など課をまたいで様々なことが必要となってきます。各課の垣根を取り払うことを意識しながら、庁内一丸となって長期的なビジョンを持ち、改めて取組についての説明ができればと考えています。



【都市整備課】

≪ 町民の健康維持のために ≫

Q 集団健診を受けやすくする体制が必要と考えるが、どのような対策を行っているか。

A 令和４年度からWeb予約とコールセンター予約の併設を実施しています。広報とみおか４月号から８月号に連続して健診に関する記事を掲載することに加え、７月号にはWeb予約の登録方法についてを掲載し、Web予約の利用向上を図っています。
また、来庁時もしくは電話においてWeb予約の方法について相談があった場合は、職員が画面操作のお手伝いを行っています。

Q 未受診者に対する対策は。

A 健診の申し込みがお済みでない方に対し、各地区の第二期のコールセンター開設時期に合わせて受診勧奨ハガキを発送しています。

【健康づくり課】

≪ 町内の防犯について ≫

Q 町内の防犯カメラについて、現在設置してある台数は今後も必要か。現在の窃盗や家屋への侵入被害など、以前と比べてどのような状況か。

A 防犯カメラについて、現在、町内46か所92台の設置があり、そのうち数か所については車両ナンバー認識システムも併せて設置をしています。
犯罪件数等について、以前に比べると減少している状況ではありますが、警察署からの捜査関係事項照会ということで捜査上の情報提供の依頼がきていますので、その都度協力ができるような体制をとっています。
設置場所の見直しなどを今後検討する必要はありますが、カメラによる犯罪抑止や再犯の減少の効果を鑑み、体制を維持していきたい考えです。



町内に設置されている防犯カメラ

【安全対策課】

行政視察　先進地に学ぶ
（総務文教・産業厚生　常任委員会）

令和８年７月13日から15日にかけて
香川県直島町および**ベネッセアートサイト直島**の視察を行いました。

出席者：堀本典明議長、高野匠美議員、渡辺正道議員、佐藤啓憲議員、辺見珠美議員
企画課主幹、企画課長補佐、議会事務局職員

富岡町は、避難を継続する町民の帰還を促す施策を行う一方で、新たに町内に居住される方を呼び込むため、移住・定住の促進や関係・交流人口の拡大に向けた施策の展開が重要な課題となっています。

現在、本町では**現代美術家の宮島達男氏**による「時の海 - 東北」プロジェクトが進行しており、2029年竣工を目指して同氏の作品を常設展示する美術館の建設が進められています。

議会としては、関係・交流人口拡大の起爆剤として同プロジェクトとしっかり連携を図るとともに、地震・津波と原発事故による未曾有の複合災害を風化させることなく後世につなぐため町執行部に対し実効性のある政策提言を行っていく必要があると考え、現代美術との連携・共生に関する先進地である直島町の現状や株式会社ベネッセコーポレーションおよび公益財団法人福武財団が展開するベネッセアートサイト直島との協力体制による取組等について勉強してきました。



昭和63年からの　パートナー関係

アートによる観光振興と地域経済の活性化

直島町
人口　約2,850人
面積　14.21㎢



㈱ベネッセコーポレーション・（公財）福武財団

アートによる価値創造と文化的理念の体現

地域計画、環境整備
▶町を大きく３つのエリアに整備

北側：産業エリア	金・銀・胴の製錬やリサイクル事業など。
中央：教育・文化エリア	教育施設が中心となる住民の生活の場。
南側：観光エリア	自然景観を生かした観光の場

住民生活の基盤づくり
▶地域ごとの特色

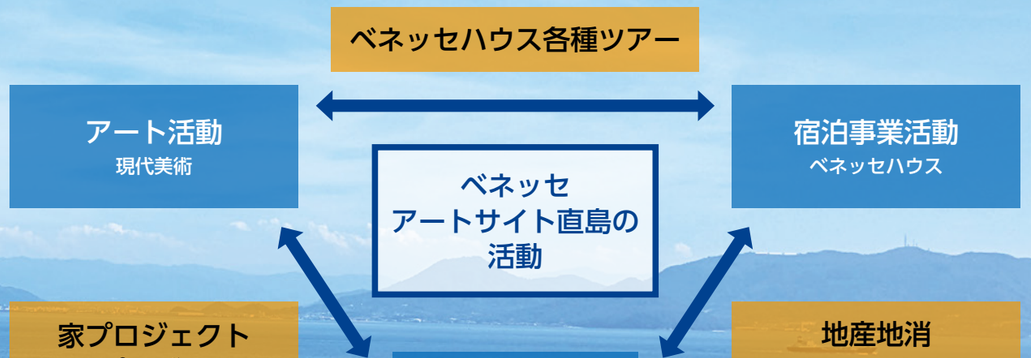


［宮ノ浦地区］
島の玄関口
フェリーの発着地（宮浦港）

［本村地区］
昔ながらの町並みが楽しめる地域
役場や郵便局、銀行があり便利

［積浦地区］
水産業が盛んな地域
静かでゆったりした暮らし

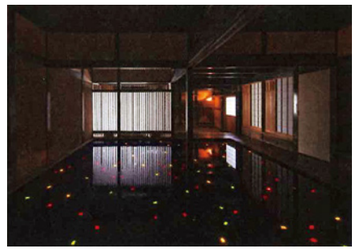
資料より抜粋



家プロジェクトの運営

家プロジェクト第１弾となったこの作品と宮島さんの理念はアートを島民の暮らしと結び付け「地域と共につくるアート」という直島の理念の礎となりました。

富岡町とのご縁ポイント



家プロジェクト「角屋」“Sea of Time'98”



“Naoshima's Counter Window”

視察資料「宮島達男さんの直島における功績」より抜粋

ベネッセアートサイト直島のHPはこちらからだっぴ♪

意見交換

ベネッセアートサイト直島

○辺見珠美
　美術館の建築費などがベネッセおよび福武財団の自己資金と伺いましたが、企業の投資分は回収できているのでしょうか。

ベネッセアートサイト直島
　単年度収支が釣り合うようになったのは2010年頃からで、近年は償却費を見てもプラスになっています。また、福武財団はベネッセの株も保有しており、株の配当など収益はベネッセの利益に連動し、活動の原資にもなっています。公金はほぼ入っていません。

○佐藤啓憲
　家プロジェクトをはじめ様々なプロジェクトがありますが、企画・発想はどのようにして生み出しておられますか。

ベネッセアートサイト直島
　オーナーの発案を受け、〝よく生きる〟という意味の「ベネッセ」を基本理念とし、文化・芸術を核に持続可能な地域社会を目指すという大きな方針と現代アートの見識をもとにプロジェクトメンバーが決めていきました。

○企画課主幹
　家プロジェクトの最初の芸術家を宮島達男氏に選定した経緯や決定の理由をお聞かせください。

ベネッセアートサイト直島
　当時の企画担当者が自身の経験から、優れたアーティストの内、本プロジェクトにふさわしいアーティストとして宮島達男氏を推挙し、オーナーにも多方面から推薦の声が上がったためです。



直島町役場（左）とベネッセハウス ミュージアム（右）において説明を受けた



宮島氏が手がけた「角屋」のSea of Time'98（左）やNaoshima's Counter Window（右）についてこれまでの経緯などの説明を受けた



説明を受けながら木村地区の家プロジェクトを巡った


杉本博司〝タイム・エクスポーズド〟
写真：安斎重男
ベネッセハウス ミュージアムでは直島ならではの芸術品が多数展示されている

直島町役場

○渡辺正道
　直島町の歴史の中で、女性だけで演じる人形浄瑠璃「直島女文楽」がありますが、存続にあたっての現状は。今後、男性の参加なども考えておられますか。

直島町長
　小さな島で人口減少や高齢化という問題はありますが、一方で若い方も参加されており、男性が参加する予定はありません。後継者問題は時代ごとにありますが、将来的にどのようにできるかは模索中です。

○渡辺正道
　直島の南西約4キロメートルに位置する豊島において昭和50年代に産業廃棄物の不法投棄問題が発生し、廃棄物の中間処理を直島で実施していますが、受け入れにあたり当時の住民との合意形成の際に出された意見はどのようなものがありましたか。

直島町長
　漁業が盛んなので風評被害の懸念などが多く出されました。課題をひとつずつクリアしていき、全住民対象のアンケートで賛成が67％となったため香川県により処理施設を建設し、直島での受け入れが決まりました。

○渡辺正道
　ベネッセアートサイト直島における美術館の建設等について町との役割分担はどのようになっていますか。

直島町長
　美術館建設における土地の購入、建設費等はベネッセおよび福武財団の全額自己資金によるものですが、町も一部の土地を無償貸与するなど様々な面で協力・支援をしています。

○堀本典明
　美術館の建設に対する町の支出がなかったとのことですが、事業が始まった当時、議会から厳しい意見などはありましたか。

直島町長
　町の予算やベネッセに対する厳しい意見はなかったと記憶しています。

○堀本典明
　芸術の町として、現在予算を計上しているものはありますか。

直島町長
　要望等に対応するための予算はありますが、大きく予算計上するものはありません。

○高野匠美
　アートを通じて住民の生活はどのように変化しましたか。点在している空き家などを改修して「暮らしの中にアートがある」という町並みを整備したことで住民の負担などはなかったのでしょうか。また、それに対して、やっておけばよかったということはありますか。

直島町長
　当初は観光客との問題もあり、住民からの苦情や不安もありました。景観の関係上、大きな看板は設置しなかったため、屋号マップなどで啓発すればよかったと振り返ります。（現在は「直島 屋号マップ」が作成されています。）
　一方で、看板がないため住民が案内するなど、観光客との交流が生まれるという良い面もあります。


家プロジェクト「はいしゃ」
大竹伸朗
〝舌上夢／ボッコン覗〟
写真：鈴木研一
暮らしの中にアートがある

○辺見珠美
　直島町の観光における課題として「住民の協力」とあります。住民を巻き込む手法や、島全体で行っているエコアイランドなおしまプランにおけるアート作品以外の環境への取組などの現況をお聞かせください。

直島町長
　住民からの理解は絶対に必要であると考えており、香川大学の学生約70名と協同で直島地域活性化プロジェクトを行っています。島民が食器を提供するなどの協力のもと、土日には学生の運営による出店もあり、住民や教育機関を巻き込み、様々な取組を行っています。エコアイランドなおしまプランでは、年1回のごみゼロクリーンデーの実施や、産業エリアにある製錬所において、豊島に不法投棄された産業廃棄物の処理後の残渣を製錬原料として再利用するリサイクル事業との協同などがあります。

○佐藤啓憲
　高校以降の学校については島外とのことですが、島に戻ってくる方や若い方の雇用関係についてお聞かせください。

直島町長
　香川県や岡山県の高校への進学や、大学へ進む方も多いため戻ってくる方は少ないですが、島内に戻って就職している方もいらっしゃいます。若いころに島から離れていても、将来「故郷は直島である」と言えるようにというのが理想です。

全員協議会報告 町の重点事業について徹底議論!!

全員協議会では、議案の審査や議会の運営等に関して協議・調整を行っています。

◆富岡町企業版ふるさと納税基金条例について

（企画課）

問 他の自治体での実績は。また、基金積立の期限を設定しているのか。（佐藤啓憲）

答 企画課
今治市のサッカースタジアムの事例があり、スキームを参考にしながら制度設計をしていく考えです。また、期限は基本的に設けず、地域再生計画内での目標額に達するまでとしています。

問 美術館の建設に特化した基金であるように聞こえる。地域に貢献する企業ということであれば、駅前にぎわい事業などで、他の企業にも活用できるのではないか。（渡辺三男）

答 企画課
他の民間事業についても、制度に合致したり町の災害復興計画（第三次）などとの整合性も踏まえながら個別かつ適正に判断します。

問 寄附金の用途について、納める方から「この事業に使ってほしい」という意向があれば考慮されるのか。（宇佐神幸一）

答 企画課
基本的に、決まったプロジェクトに対して寄附金を募るものであり、申請時に選択していただくことで意向を反映できるように運営していく考えです。

問 地方再生法施行規則により寄附の代償として経済的利益を受け取ることが禁止されているが、具体的にどのようなことか。（渡辺正道）

答 企画課
公共事業において寄附をいただいた1社のみを優遇して発注することができないことが大きな例です。一方で、内閣府のQ&Aによると広く周知をする入札であれば競争性を担保して入札を執行するため、制度上、経済的利益の供与には当たらないとされています。

◆富岡駅前にぎわいづくりに向けた取組について

（企画課）

問 廃炉交付金ではなく、企業版ふるさと納税も活用できるのでは。（渡辺三男）

答 企画課
廃炉交付金については、令和2年度に富岡駅前にぎわい事業に活用するため基金を造成したものであり、富岡町公共施設整備基金条例に基づき施設整備を目的に積み立てていますので、廃炉交付金を活用していきたい考えです。

問 民間企業に参入してもらう商業区画については、いち早く整備をすることでにぎわい創出につながるのでは。（渡辺三男）

答 企画課
現在、富岡駅前商業区画の貸付に関する要綱に基づき、すでに1社の貸付が決定しており、他1社が進出の意向を示している状況で、現行の制度との整合性を図りながら早急に見直しをかけ、施設を整備してく考えです。

問 駅前南側の曲田4号公園にバスケットコートを設置した場合、大きなイベントも開催されると思われるが、駐車場についてはどのように考えているのか。（渡辺三男）

答 企画課
現時点では駐車場の増設はせず、町内各所の施設との連動を図る考えです。

答 都市整備課
他の町有地に車を停めていただき、シャトルバスにより送迎することも一案と考えています。

問 富岡駅駐車場の有料化の考えは。（宇佐神幸一）

答 総務課
今後のにぎわい創出において検討していかなくてはいけない課題であると認識していますが、現状は復興に向けて多くの方に利用していただけるよう無料としています。

令和８年度活動状況報告

議員の派遣や委員会、定例会等の活動状況を報告いたします。
（広域圏・水道企業団等の議会や学校行事等を除く）

令和８年７月23日～令和８年10月20日（議会広報特別委員会最終日）

年月日	会議名称	出席	安藤 正純	辺見 珠美	平山 勉	佐藤 啓憲	渡辺 正道	高野 匠美	宇佐神幸一	渡辺 三男	堀本 典明
R８.８.26	総務文教常任委員会	4	／	○	／	○	○	／	／	／	○
R８.８.27	産業厚生常任委員会	6	○	／	○	／	／	○	○	○	◎
R８.９.２	原子力発電所等に関する特別委員会	9	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
R８.９.４	議会運営委員会	6	○	／	／	○	○	○	○	／	◎
R８.９.４	全員協議会	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R８.９.４	議会広報特別委員会（第228号第１回目）	5	／	○	○	○	／	○	／	／	◎
R８.９.９	令和８年第５回定例会（第１日目）	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R８.９.10	令和８年第５回定例会（第２日目）	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R８.９.11	令和８年第５回定例会（第３日目）	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R８.９.24	議会広報特別委員会（第228号第２回目）	4	／	○	○	○	／	○	／	／	／
R８.10.１	福島市及び県北地区在住富岡町民自治会員との意見交換会	3	／	／	／	／	○	／	○	／	○
R８.10.５	議会広報特別委員会（第228号第３回目）	4	／	○	○	○	／	○	／	／	／
R８.10.19	福島県町村議会議員研修会	7	欠	○	○	○	○	○	欠	○	○
R８.10.20	議会広報特別委員会（第228号第４回目）	5	／	○	○	○	／	○	／	／	◎

○：出席　／：委員会に所属しない議員　◎：職務のための出席　㊍：公務による欠席　欠：欠席

■発行／富岡町議会
■編集／富岡町議会広報特別委員会
■富岡町公式ホームページ https://www.tomioka-town.jp/
■印刷／㈱日進堂印刷所

ちょっとひとこと みなさまの声

Q. 富岡町に対する印象をお聞かせください。

A. 豊かな自然と温かな人々に恵まれた富岡町は、困難を乗り越え未来へ歩む強い力に満ちています。現地を訪れるたび、歴史を大切にしながら復興を進める皆様の姿に深く胸を打たれます。
過去の記憶を希望へとつなぎ、世界中から人が集まる新たな文化の芽を育むのに、これほど相応しい場所はないと確信しています。

Q.「時の海 東北 美術館」について今後の展望をお聞かせください。

A. 被災された方々など3,000人の思いを込めた「時の光」が集う本美術館は、世界的な建築家・田根剛氏の設計で建設を進めています。単に作品を展示する場にとどまらず、世界中から人々が訪れ、町民の皆様が憩い誇れる拠点を目指します。
富岡町から世界へ復興の希望を発信し、持続的な賑わいを生み出していきたいと思っています。

Q. 富岡町民の皆さんへメッセージをお願いします。

A. この美術館は、町民の皆様と一緒に創り上げていく「未来への希望の場」です。参加された一人ひとりの物語や思いが作品の一部となり、何世代にもわたって語り継がれていきます。
富岡町が誇る新たなランドマークとして、次世代に豊かな未来を手渡せるよう全力を尽くします。共に新しい歩みを進めていきましょう。

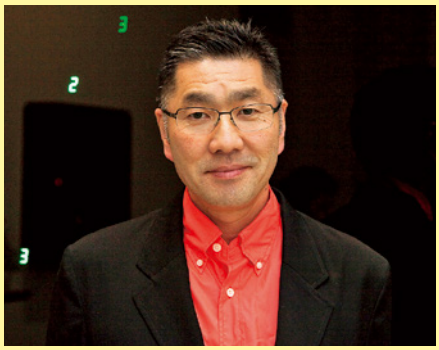


Photo : Lisson Gallery Milano

現代美術家　宮島達男さん

【経歴】

- ●1986年　東京藝術大学大学院修了。
- ●1988年　ヴェネツィア・ビエンナーレ、新人部門に招待され、デジタル数字の作品で国際的に注目を集める。以来、国内外で数多くの展覧会を開催。
- ●1997年　ジュネーブ大学コンペティション優勝。
- ●1998年　第５回日本現代芸術振興賞受賞。
- ●2021年　第71回芸術選奨 文部科学大臣賞受賞。
- ●1998年　ロンドン芸術大学名誉博士授与。
- ●2006～2016年　東北芸術工科大学副学長。
- ●2012～2016年　京都芸術大学副学長。
- ●代表作に「メガ・デス」(1999/2016)など。東日本大震災の犠牲者の鎮魂と震災の記憶の継承、東北の未来をつくることをめざす「時の海 - 東北」プロジェクトも推進している。

議会を傍聴しませんか？

- ●12月定例会は、16日(水)～ 18日(金)の会期で開催する予定です。
- ●所定の用紙に、住所(市町村名まで)・氏名・性別・年齢を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
- ●定例会・臨時会のライブ配信およびアーカイブを議会公式YouTubeにて行っています。
- ●審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局　☎0240-22-2111(代表)



編集後記

秋から年末にかけ、双葉郡各地で様々なイベントが盛りだくさんで日程が重なることも珍しくなくなりました。震災後に復活した祭りも各地で開催され、住民の再会の場となっている様子がとても微笑ましいです。一方で高齢化や、避難先からの交通の問題で、故郷から足が遠のきかけている方が増えてきている実態は、やむをえないとはいえ寂しくもあります。

議会広報特別委員会では、皆様により興味を持っていただける議会を目指して、わかりやすい内容の広報を心がけています。ご意見ご感想などありましたらご一報いただけると幸いです。

（平山　勉）

発行責任者
議長　堀本典明

議会広報特別委員会
委員長　佐藤啓憲
副委員長　辺見珠美
委員　平山　勉
委員　高野匠美

FSC® の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。
FSC ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C020493
GREEN PRINTING JFPI P-B10178 この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。